

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

[平成20年度設置]

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 電波学園

(2) 大学名

愛知工科大学大学院

(3) 大学の位置

〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗50番2

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(カリ アキル) 小川 明治 (平成17年4月15日)		
学長	(ハノ ヒロシ) 早野 浩 (平成18年4月1日)	(ウチダ タカ) 内田 高峰 (平成20年4月1日)	健康上の辞任(20)
研究科長	(ハナカ ユウリ) 畑中 義式 (平成20年4月1日)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成19年度に報告済の内容 (19)

平成21年度に報告する内容 (21)

「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

[平成20年度設置]

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成18年度開設の場合（平成21年度までの4年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 システム工学専攻 博士前期課程	2年	7人	14人	基礎となる学部名等 工学部 機械システム工学科 ロボットシステム工学科 情報メディア学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(7) 人	(7) 人		
志願者数	(2) 9	() 16		
受験者数	(2) 9	() 16		
合格者数	(2) 9	() 16		
B 入学者数	(1) 8	() 16		
入学定員超過率 B / A	() 1.14	() 2.28	1.71	

(注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成20年度	平成21年度	備考
1年次	[0] 8	[0] 16	
2年次	[0] 0	[0] 7	
3年次		[0] 0	
計	[0] 8	[0] 23	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況
[平成20年度設置]

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [0] 8	[0.0 %] 0.0 %
	うち平成20年度入学者 0 人	うち平成20年度 8 人	
	(主な退学理由) _____		
平成21年度	計 [0] 1	計 [0] 24	[0.0 %] 4.2 %
	うち平成20年度入学者 1 人	うち平成20年度 8 人	
	うち平成21年度入学者 0 人	うち平成21年度 16 人	
	(主な退学理由) その他 1 (進路変更)		

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18,19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

[平成20年度設置]

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は，平成18年度開設の場合（平成21年度までの4年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）
 3 定員を変更した場合は，備考欄に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 システム工学専攻 博士後期課程	3年	3人	9人	基礎となる学部名等 工学部 機械システム工学科 ロボットシステム工学科 情報メディア学科

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	()人 3	()人 3	倍 0.16	
志願者数	() 1	() 0		
受験者数	() 1	() 0		
合格者数	() 1	() 0		
B 入学者数	() 1	() 0		
入学定員超過率 B / A	() 0.33	() 0		

- (注) 1 ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[] 1	[] 0	[]	
2年次	[] 0	[] 1	[]	
3年次	/	[] 0	[]	
計	[] 1	[] 1	[]	

(注) 1 []内には，留学生の状況について内数で記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

[平成20年度設置]

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [0] 1	[0.0 %] 0.0 %
	うち平成20年度入学者 0 人	うち平成20年度 1 人	
	(主な退学理由) _____		
平成21年度	計 [0] 0	計 [0] 1	[0.0 %] 0.0 %
	うち平成20年度入学者 0 人	うち平成20年度 1 人	
	うち平成21年度入学者 0 人	うち平成21年度 0 人	
	(主な退学理由) _____		
平成22年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由) _____			

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例) 今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

[平成20年度設置]

<工学研究科 システム工学専攻(前期課程)>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
精密加工学特論	1 未開講 +		2		1					通常開講(21) 履修希望者がいなかったため(20)
材料力学特論	1 未開講 +		2		1	+				通常開講(21) 教授昇任(21) 担当 山本照美(教授) 平成20年8月教員審査済 判定 可(21) 履修希望者がいなかったため(20)
複合材料工学	未開講 -2		2		1					履修希望者がいなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20)
機能材料工学	未開講 -2		2		+					履修希望者がいなかったため(21) 専任教員退職により、兼任教員へ変更(21) 開講年次21年度からのため(20)
数値流体力学	1		2		1					
流体機械特論	1 未開講 +		2		1					通常開講(21) 履修希望者がいなかったため(20)
熱力学特論	1		2							
自動車工学特論	未開講 -2		2							履修希望者がいなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20)
メカトロニクス特論	1		2		1					
バイオメカニクス特論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
ロボティクス特論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
制御工学特論	1		2							
半導体物性特論	1		2		1					
レーザー工学特論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
センサー工学特論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
光エレクトロニクス特論	1		2		1					
回路設計工学	1		2		1					
光通信工学特論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
コンピュータネットワーク特論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
数理アルゴリズム論	1		2		1					
通信システム特論	1		2		1					
インテリジェントシステム論	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
メディアデザイン特論	1		2			1				
音声・音響情報処理	2		2		1					開講年次21年度からのため(20)
画像・映像情報処理	1		2		1					
環境移動現象論	未開講 -2		2		1					履修希望者がいなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20)
環境材料工学特論	未開講 -2		2		1					履修希望者がいなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20)
エネルギーシステム工学	未開講 -2		2		1					履修希望者がいなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20)
環境システム特論	1	2			1					

授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
		必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
物理化学特論	未開講 +		2		+						履修希望者がいなかったため(21) 専任教員退職により、兼任教員へ変更(21) 履修希望者がいなかったため(20)
システム工学基礎論	1		2			1					
MOT技術論	2		2		1						開講年次21年度からのため(20)
情報システム特論	2		2								開講年次21年度からのため(20)
科学技術政策特論	1		2								
システム工学特別演習	1	2			14 13	2 3					システム工学特別演習 は 開講年次21年度からのため(20) 専任教員退職(21) 教授昇任(21) [担当 山本照美(教授) 平成20年8月 教員審査済 判定 可(21) 教育課程の充実を図るため教員を追加(20) [担当 中谷一郎(教授) 椎名保顕(教授) 平成20年6月 教員審査提出予定
システム工学特別演習	2	2			14 13	2 3					
システム工学特別研究	1	4			14 13	2 3					
システム工学特別研究	2	4			14 13	2 3					
計 (38科目)		14	66	0	14 13	2 3	0	0	0		

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	33		38	5	33		38	
				[0]	[0]	[]	[0]	

(3) 未開講科目

[平成20年度設置]

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	複合材料工学	2	2		選択	履修希望者がいなかったため 無
2	機械材料工学	2	2		選択	履修希望者がいなかったため 無
3	自動車工学特論	2	2		選択	履修希望者がいなかったため 無
4	環境移動現象論	2	2		選択	履修希望者がいなかったため 無
5	環境材料工学特論	2	2		選択	履修希望者がいなかったため 無
6	エネルギーシステム工学	2	2		選択	履修希望者がいなかったため 無
7	物理科学特論	2	1		選択	履修希望者がいなかったため 無
計(7科目)						

(4) 廃止科目

該当無し

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目への履修希望者がいなかったことによる未開講であるため、
 学生の今後の履修への影響はない。
 学生全員に対し、開設中の科目であり履修希望があれば開講することを周知した。

$$\frac{7 \text{ 科目} (4 \text{ 科目})}{38 \text{ 科目} (20 \text{ 科目})} = 18.42\% (20.00\%)$$

注) () 書は、平成20年度大学院開設に伴う開設初年次に係る未開講比率

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、
 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

[平成20年度設置]

<工学研究科 システム工学専攻(後期課程)>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
機械システム特殊研究	未開講 +		2								履修希望者がなかったため(21) 履修希望者がなかったため(20) 履修希望者がなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20) 履修希望者がなかったため(21) 教育課程の充実を図るため教員を追加(20) { 担当 中谷一郎(教授) 椎名保顕(教授) 平成20年6月教員審査提出予定 } 開講年次21年度からのため(20) 履修希望者がなかったため(21) 開講年次21年度からのため(20) 教育課程の充実を図るため教員を追加(20) { 担当 中谷一郎(教授) 椎名保顕(教授) 平成20年6月教員審査提出予定 } 開講年次21年度からのため(20) 履修希望者がなかったため(21) 開講年次22年度からのため(20)
機械システム特殊研究	未開講 -		2								
電子情報システム特殊研究	未開講 +		2								
電子情報システム特殊研究	2		2								
研究指導	未開講 +		4								
研究指導	2		4								
研究指導	3		4								
計(7科目)			12	8	0	11	0	0	0	0	

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	4		7	3	4		7	
				[0]	[0]	[]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	機械システム特殊研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため 無
2	機械システム特殊研究	2	2	選択	履修希望者がいなかったため 無
3	電子情報システム特殊研究	2	1	選択	履修希望者がいなかったため 無
4	研究指導	4	1	必修	履修希望者がいなかったため 無
計(4科目)					

(4) 廃止科目

該当無し

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1					
2					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目への履修希望者がなかったことによる未開講であるため、
学生の今後の履修への影響はない。
学生に対し、開設中の科目であり履修希望があれば開講することを周知した。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{5 \text{ 科目 (1 科目)}}{7 \text{ 科目 (3 科目)}} = 71.42\% (33.33\%)$$

注) ()書は、平成20年度大学院開設に伴う開設初年次に係る未開講比率

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

[平成20年度設置]

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動用地から校舎敷地へ1,992㎡変更(21) ・校舎敷地(うち借地5,919㎡)の共用は、なし ・運動場用地(うち借地4,508㎡)は、愛知工科大学自動車短期大学と共用 誤記入訂正(21)			
	校舎敷地	44,432 42,440 ㎡	0 ㎡	7,463 ㎡	51,895 49,903 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	7,008 9,000 ㎡	0 ㎡	7,008 9,000 ㎡				
	小 計	44,432 42,440 ㎡	7,008 9,000 ㎡	7,463 ㎡	58,903 ㎡				
	そ の 他	7,194 0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	7,194 0 ㎡				
	合 計	51,626 42,440 ㎡	7,008 9,000 ㎡	7,463 ㎡	66,097 58,903 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	26,597 29,579 (18,544㎡)	0 ㎡	9,228 6,245 (6,245㎡)	35,825 35,824 (24,789㎡)	愛知工科大学自動車短期大学と共用 校舎新築のため(21)			
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(6,245㎡)	(24,789㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	54 40 室	1 室	62 42 室	6 室 (補助職員 1 人)	1 室 (補助職員 0 人)	大学全体 校舎新築・所属換え(21)		
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		申請研究科全体			
	工学研究科			16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	工学研究科	31,500〔5,150〕 (31,205〔5,115〕)	230〔80〕 (210〔72〕)	28〔28〕 (0〔0〕)	500 (491)	9,275 (9,264)	0 (0)		
	計	31,500〔5,150〕 (31,205〔5,115〕)	230〔80〕 (210〔72〕)	28〔28〕 (0〔0〕)	500 (491)	9,275 (9,264)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	1,253㎡		213席		45,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	2,818㎡		野 球 場 1 面		テ ニ ス コ ー ト 3 面				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備を含む(20) 計額と実施額のずれ(21)
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	1,993 4,504 千円	447 4,213 千円	4,213千円	
	共同研究費等	4,000 5,000 千円	5,000千円	設備購入費	0 13,550 千円	2,595 62,600 千円	42,875千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
博士前期課程 900千円		760千円	千円	千円	千円	千円			
博士後期課程 920千円		780千円	790千円	千円	千円	千円			

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

[平成20年度設置]

大学の名称									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
愛知工科大学									
工学部	年	人	年次人	人		倍		愛知県蒲郡市西迫町馬乗50番2	平成19年度から入学定員減25人 平成19年度から学生募集停止(3年次編入は、平成21年度から学生募集停止)
機械システム工学科	4	75	3年次40	405	学士(工学)	0.78	平成12年度		
ロボットシステム工学科	4	75	3年次10	235	学士(工学)	0.33	平成19年度		
情報メディア学科	4	75	3年次30	255	学士(工学)	0.54	平成19年度		
電子情報工学科	4		3年次40	165	学士(工学)		平成12年度		
愛知工科大学自動車短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
自動車工業学科	2	180		360	短期大学士(自動車工学)	0.87	昭和62年度	愛知県蒲郡市西迫町馬乗50番2	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成 年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

[平成20年度設置]

<工学研究科 システム工学専攻(前期課程)>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	畑中 義式 (68)	平成20年4月	センサー工学特論 環境材料工学特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	宮崎 保光 (67)	平成20年4月	コンピュータネットワーク特論 数理アルゴリズム論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	峯村 吉泰 (66)	平成20年4月	数値流体力学 流体機械特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	相木 國男 (66)	平成20年4月	半導体物性特論 レーザー工学特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	矢野 正孝 (65)	平成20年4月	エネルギーシステム工学 環境システム特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	小沢 慎治 (64)	平成20年4月	音声・音響情報処理 画像・映像情報処理 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	茅野 直樹 (63)	平成20年4月	光エレクトロニクス特論 光通信工学特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	井上 久弘 (63)	平成20年4月	精密加工工学特論 複合材料工学 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	小塚 一宏 (62)	平成20年4月	通信システム特論 インテリジェントシステム論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	今輩倍 正名 (61)	平成20年4月	機能材料工学 物理化学特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究	兼任	講師			機能材料工学 物理化学特論	平成20年9月退職による兼任への変更 (家庭の事情)(21)
専	教授	森 英利 (55)	平成20年4月	バイオメカニクス特論 環境移動現象論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究	専	教授	中谷 一郎 (63)	平成20年4月	バイオメカニクス特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究	平成20年3月 森教授退職による 担当者の変更 (20) 平成20年8月 教員審査済(21)
				システム工学特別研究 システム工学特別研究	専	教授	椎名 保顕 (60)	平成20年4月	環境移動現象論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究	
専	教授	大西 正敏 (53)	平成20年4月	メカトロニクス特論 ロボティクス特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	教授	杉浦 伸明 (52)	平成20年4月	回路設計工学 MOT技術論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	准教授	山本 照美 (58)	平成20年4月	材料力学特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究			教授			平成20年4月 教授に昇格(20) 平成20年8月 教員審査済(21)
専	准教授	石川 雄二郎 (60)	平成20年4月	システム工学基礎論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
専	准教授	加藤 高明 (48)	平成20年4月	メディアデザイン特論 システム工学特別演習 システム工学特別演習 システム工学特別研究 システム工学特別研究						
兼任	講師	橋本 孝明 (62)	平成20年4月	熱力学特論						
兼任	講師	加藤 善一 (51)	平成20年4月	科学技術政策特論						
兼任	講師	大久保 陽一郎 (53)	平成20年4月	自動車工学特論						
兼任	講師	高浜 盛雄 (60)	平成20年4月	制御工学特論						
兼任	講師	相田 一夫 (60)	平成20年4月	情報システム特論						

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
15	1	16	0	15	1	16	0	
(15)	(1)	(16)	(0)	[0]	[0]	[0]	0	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	森 英利	国立大学法人教授に任用されたことによる辞職
2	教授	今輩倍 正名	家庭の事情による退職

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・教授の辞職に伴う当該担当授業科目については、20年度新規採用した教授(平成20年8月教員審査済)で担当し、開講していくこととしているので、学生の履修等への影響はなし。 ・教授の退職に伴う当該担当授業科目については、退職後講師として引き続き担当し開講していくため、学生の履修等への影響はない。 ・学生全員に対し、専任教員の交代等について周知済。
--

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
 (記入例参照)
- 3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
- 5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「年月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「年月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に()書きで記入してください。(記入例参照)
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- 7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。
 (記入例: 1名減の場合: 1)
- 8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- 9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<工学研究科 システム工学専攻（後期課程）>

[平成20年度設置]

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	畑中 義式 (68)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	宮崎 保光 (67)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	峯村 吉泰 (66)	平成20年4月	機械システム特殊研究 機械システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	小沢 慎治 (64)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	茅野 直樹 (63)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	井上 久弘 (63)	平成20年4月	機械システム特殊研究 機械システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	小塚 一宏 (62)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	森 英利 (55)	平成20年4月	機械システム特殊研究 機械システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導	専	教授	中谷 一郎 (63)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導	平成20年3月 森教授退職による 退職者の変更(20) 平成20年6月 変更書提出予定(20) 平成20年8月 教員審査済(21)
					専	教授	椎名 保顕 (60)	平成20年4月	機械システム特殊研究 機械システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導	
専	教授	大西 正敏 (53)	平成20年4月	機械システム特殊研究 機械システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						
専	教授	杉浦 伸明 (52)	平成20年4月	電子情報システム特殊研究 電子情報システム特殊研究 研究指導 研究指導 研究指導						

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
8	2	10	0	9	2	11	0	
(8)	(2)	(10)	(0)	[1]	[0]	[1]	0	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	森 英利	国立大学法人教授に任用されたことによる辞職
2			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・教授の辞職に伴う当該担当授業科目については、20年度新規採用した教授(平成20年8月教員審査済)で担当し、開講していくこととしているので、学生の履修等への影響はなし。 ・学生全員に対し、専任教員の交代について周知済。
--

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
 (記入例参照)
 3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
 5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」,変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「年 月変更書提出済」,変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に()書きで記入してください。(記入例参照)
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。
 (記入例: 1名減の場合: 1)
 8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

[平成20年度設置]

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成19年12月)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	<p>設置計画を確実に履行できるよう大学院の諸規則を制定するとともに、図書等設備の充実を進めているところ。特に院生1人1人にパソコンを貸与することとし、教育研究活動の充実を図っている。</p> <p>また、院生の学費の一助となるようにするため、本学学部教育のTAとして雇用を計画しているところである。</p> <p>なお、名古屋サテライトキャンパスについては、より交通等の至便なところへ設置場所を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院運営のための諸規則の制定。 ・院生1人1人へのパソコンと研究用機を貸与。 ・院生のTAとしての雇用制度を実施。(20) ・図書館での文献情報検索の電子化とその利用にあたり、必要文献のダウンロードによる入手を可能とした。(21) 	_____
設置計画履行状況 調 査 時 (平成21年1月)	該当なし		_____

(注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度(丸数字)を付記してください。

2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

[平成20年度設置]

<工学研究科 システム工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<p>サテライトキャンパス設置場所 名古屋市熱田区内 駅から徒歩10分</p>	<p>学生の修学の至便さを確保するため、 駅から徒歩3分の施設に変更</p>

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 2回（各回7人）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <hr/> <p>実施状況 実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師等によるFD講演会 ・教員の手引の作成 ・授業に対する学生のアンケート調査 ・新規採用教員のオリエンテーションの実施 ・教員個人活動報告書の提出 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎教育センター主催の外部講師招聘による講演 ・全学生を対象としたアンケート調査 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回のFD講演会 全教員の参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員個人への授業評価結果のフィードバック

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度から、ほぼ定数を確保。また社会人も入学し、再教育の機会を与える場としての目的も達成されつつある。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成23年10月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業、工学系大学院及び希望があった学生に各1冊を配布予定
・大学ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

大学の認証評価を平成21年度に受審予定

(4) 情報提供に関する事項

[平成20年度設置]

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (21年6月30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.aut.ac.jp/about/>)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (21年6月30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.aut.ac.jp/about/>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「 」及び「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。